通信ともに
第73号
2019年7月12日発行
認定NPO法人ともに
住所　〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北３条西２丁目１－１
でんわ　（0136）55−5828
ＦＡＸ　（0136）55−5829
Ｅメール　info@npo-tomoni.com
ホームページ　http://www.npo-tomoni.com　　ブログ　http://blog.canpan.info/npotomoni/

だはしみ まめちしき

*1写真のハイビスカスに似た花は「エゾカンゾウ」。「ゼンテイカ」とも呼ばれます。海岸などに群生し、花は一日でしぼむそうです。

今月の一枚

まるで南国〜積丹半島*1

５月２７日撮影　カメラマンＣさんより
花と海のコントラストがとてもきれいだったので写してみました♪

清水基金さまから助成決定

社会福祉法人　清水基金（右枠参照）さまから、ワークショップようていで使用する自動車への助成がこのたび決まりました。

これまで中古で購入したワゴン車と軽トラックの2台で農場への移動や利用者さんの送迎をおこなってきましたが、どちらも劣化が目立ち、新車の導入が待望となっていました。

購入予定の車両はトヨタ製のノア8人乗りです。運転補助装置をつけたことで、足の不自由な職員でも運転可能です。

納車は8月中の予定です。今後も追って報告いたします。清水基金さまありがとうございます。

社会福祉法人　清水基金
1966（昭和41）年設立。おもに清水建設株式会社の株式を基本財産とし、障害のある方々の福祉増進を図ることを目的とする助成事業をおこなっている。
ホームページ
https://www.shimizu-kikin.or.jp/

わっくわくまつり　９月７日（土）に

昨年のおまつり

法人と地域のおまつり「わっくわくまつり」。今年は9月7日土曜日に開催します。

2016年に始まり今年で4回目です。今回もみなさまが楽しめるおまつりになるよう準備を進めています。

来月第74号でくわしい内容をご紹介します。

だはしみ まめちしき

*4５つの当事者チームが2グループに分かれて総当たりで対戦。グループ1位同士で決勝をし、以下3位決定戦、5位決定戦をしました。

K.S.C. Juntos　速報・北海道チャンピオンズカップ

6月23日、札幌市北区体育館にて「第10回北海道チャンピオンズカップ*4」が開かれ、K.S.C. Juntosも参加しました（５年連続５回目）。北海道最大のソーシャルフットボール大会で、今回は10チームが参加しています。

前回優勝した帯広市のアユターレに１点差で惜敗するなど、勝利をおさめることはできませんでしたが収穫ある大会となりました。

優勝は前回４位のスマイル長野、準優勝は前回３位のH.S.アリアンサと実力あるチームが今年も活躍しました。

第10回北海道チャンピオンズカップ　最終順位
1　スマイル長野（札幌市）
2　H.S. アリアンサ（札幌市）
3　アユターレ（帯広市）
4　エスポワール（札幌市）
5　ここリカ（札幌市）
6　ふぉれすと（小樽市）
7　United Hearts（名寄市）
8　バンディアーニ札幌（札幌市）
9　K.S.C. Juntos（倶知安町）
10　フットアンドブレインすみれ（札幌市）
※1位から6位までは順位決定戦の結果。それ以下はグループステージでの勝ち点および得失点差での順位

K.S.C. Juntos　今大会の成績

アユターレ（帯広市）	●　0-1
スマイル長野（札幌市）	●　0-5
バンディアーニ札幌（札幌市）	●　1-3
ふぉれすと（小樽市）	●　0-1

０勝０分４敗　グループ５位

精神科医　土田正一郎の

その60　初心に帰る

これは難しいと思っている。何かに出会ったということは、その事実を前提に今が存在している訳だから、時間の流れを無視することはできない。「あの頃に戻れたらいいな」と憧憬の想いを抱くくらいにして、この現実を受け入れたほうが良い。

このコラムも「初心に帰りたい」がどうやっていいかわからないので、困っている。

各事業報告〜6月末現在

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい
契約／移行3人、B型19人
見学／0人、体験／2人

グループホーム よろこび
利用者数　19人
見学／1人、体験／1人

K.S.C. Juntos
当事者選手　13人
サポートスタッフ　18人

◆法人会員　正会員20人、賛助会員　団体２　個人88人
◆2019年度寄付金　のべ3人　35,880円
◆寄付物品　牛乳パック

編集後記

「浪花のモーツァルト」ことキダ・タロー氏、現在88歳。「探偵ナイトスクープ」顧問で知られますが、本業は「生活笑百科」テーマやCM「出前一丁」など、計数千曲を作ったという作曲家です。その彼に「あなたの最高傑作は？」と聞くと「次に作る曲です」と答えるそう。飽くなき向上心に感服です。（かわさき）

だはしみ まめちしき

*2カモミールの花言葉は「逆境に耐える」。丈夫に育つことから名づけられたそうです。

シリーズ就労移行支援②

就職者インタビュー～実際に支援を受けて

今回は実際に就労移行支援を利用して就職し、定着支援を活用しながら仕事をがんばっているＦさんにインタビューをしました。

―――仕事が終わってからのインタビューです。お疲れのところありがとうございます。

Ｆさん　いえいえ、よろしくお願いします。

―――Ｆさんは就職して３年目になります。現在はどのような仕事をしているのですか？

Ｆさん　調理場で非常勤として掃除や洗たくを任されています。

―――今回が初めての就職だそうですね。就職への不安はありましたか？

Ｆさん　不安はかなりありました。初めは半日勤務だったのですが、体力勝負のところもあって「半年持たないんじゃないか・・・」とも思いました。それでも定着支援で何度も就労支援員の方に相談し、時には職場の方も一緒に話し合うことで、安心して仕事を続けることができています。

―――移行支援ではおもにどのような支援を受けましたか？

Ｆさん　履歴書の書き方を学んだり、模擬面接を受けたりしました。模擬面接は細かいところを聞かれて緊張しましたが、そのような厳しい練習をしたおかげで本番はリラックスして臨めたような気がします。

―――定着支援はどのような支援を受けていますか？

Ｆさん　仕事の悩みを聴いてもらい、一緒に考えていただいています。ある悩みで面談をしたとき「その悩みはＦさんだけではないよ」とアドバイスを受けたことがありました。私だけで悩んでいるのではないことに気がつき、肩の力を下ろしてできるようになりました。

―――これからの目標を聞かせてください。

Ｆさん　もっと自分の出来ることを活かして、効率よく働いていきたいです。これからもここの職場で働き続けたいと思っています。

―――苦労もあると思いますが、目標に向かってがんばってください。ありがとうございました。

Ｆさん　ありがとうございました。

※次回は就労支援の取組についてお伝えします

農業部　いまの生育状況

じゃがいもは水はけを良くするために、畝を高めにしました。手作業で大変だった分成長してほしいなあ。

今年はカモミール*2を植えてみました。これでお茶に挑戦したいと思っています。

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい　グループホーム よろこび

洪水避難の備えを～防災訓練

↑総務省、消防庁のリーフレットより転載

国は6月、洪水や浸水による避難のタイミングをわかりやすくするため、指標として「警戒レベル」を発表しました。下に表としてまとめたとおり、警戒レベル５はすでに災害が起きている状態です。警戒レベル３～４で避難しなければなりません。

左のリーフレットは内閣府防災情報ページでダウンロードできます。くわしくは以下のアドレス、もしくは「内閣府　警戒レベル」で検索してみてください。

http://www.bousai.go.jp/

当事業所も防災計画に警戒レベルを盛り込むよう見直ししています。

事業所から約500ｍ先を流れる倶登山川（くとさん）

警戒レベル	出される情報（国土交通省・気象庁）	出される情報（市町村）	私たちの行動
レベル５	大雨特別警報 氾濫発生情報	災害発生情報	災害が起きています この段階の前に避難完了を
レベル４	氾濫危険情報	避難勧告 避難指示（緊急）	**全員避難を!**
レベル３	洪水警報 氾濫警戒情報	避難準備・高齢者等避難開始	移動に時間が必要な方は ここで避難開始
レベル２	洪水注意報・大雨注意報 氾濫注意情報		避難の準備を
レベル１	早期注意情報		情報を集めて避難の心構え

6月13日、ワークショップようていとグループホームよろこび、まどかの2住居合同で防災訓練をおこないました。

今回は倶知安町に集中豪雨が発生し、洪水警報（レベル3相当）が出たことを想定。町の指定避難場所となっているくとさんパークと倶知安町総合体育館へ徒歩で移動（一部の方は車使用）し、避難場所を確認しました*3。

くとさんパーク

倶知安町総合体育館

だはしみ まめちしき

*3ワークショップようていは通所施設のため、レベル3が出る前に閉所し、各自帰宅してもらいます。